山田の凱旋門

【所　在　地】姶良市姶良町下名 1178
【種　　別】登録有形文化財
【登録年月日】平成 13 年８月 28 日

山田の凱旋門は日露戦争に従軍した人達の無事帰国を記念して，明治 39（1906）年３月に山田村兵事会が建設した。

構造形式は石造１間開口の門で，太い角柱を両側に立て，アーチで繋ぎ，柱頭に帽子風に石をのせ，力強さを表現している。

門の前方は町（山田麓）の主要な道で，背後に広場があり，小高い丘に通じ，優れた位置に立っている。高さ（4.71m），幅（4.88m）ともほぼに等しく，入口の高さ（地上からアーチ石の中央まで約 3.04m）と柱と柱の間（3.08m）がまた等しく，正方形を主眼に設計されている。この種の凱旋門は全国でも少なく，極めて貴重な遺構である。